



令和7年度

養護教育研究会

第2回 研修会

演題 「明日から役立つ！
保健室で行う判断・アセスメントのコツ」

講師 千葉市立青葉病院 総合診療科
主任医長 廣瀬 裕太 氏

日程 令和8年1月9日（金）15～17時

開催方法 オンライン形式



講演のまとめ

保健室に来室する子どもたちの症状から正しい判断をするために、まずは「判断のプロセスについて」学びました。判断のプロセスには、直感的思考と分析的思考の2種類があり、それぞれにメリットとデメリットが存在していることを知りました。保健室では、直感的な判断が求められる場面が多いですが、その一方で思い込みや見落としがあることを再認識できました。分析的思考の重要性を理解しつつ、知識や判断スキルを高めていく必要があることを学びました。また、腹痛や頭痛など日常的な症状から急性虫垂炎や髄膜炎など重篤な疾患を想定する視点や、常に幅広い視点で症状から状況判断していく重要性を学びました。

今後は、根拠をもって症状を判断し、安全でより信頼される保健室経営に役立てていきたいと思いました。